

## 市民の安心安全のために 北上市水防訓練

北上市水防訓練は11日、和賀川グリーンパーク駐車場で行われました。訓練には、市消防団本部や北上地区消防組合、市消防団192人が参加。改良積み土のう工法、杭打ち積み土のう工法、シート張り工法、Tマット工法、月の輪工法の5種類の作業訓練について真剣に取り組み、作業手順を再確認しました。

市独自としては5年ぶりの訓練となり、水防体制の強化と水防技術の向上を図りながら水防についての認識と理解を深めていました。

みんなで力を合わせ土のうを積み、月の輪工法に取り組む消防団員



たくさんの人でにぎわった露店。まつりには1940人も人が来場しました。

## ふるさとの文化を大切に 第9回相去ふるさとまつり

相去地区自治協議会主催の第9回相去ふるさとまつりは10月28日、市民相去体育館や相去地区交流センターを会場に行われました。豚汁サービスや復興支援のサンマ焼きの振る舞い、企業活動のパネル紹介、あいさり産直市などが開かれ、大勢の来場者でにぎわいました。また、同体育館では、相去藩境太鼓や相去保育園の鬼剣舞など、地元団体が芸能を発表。全国高校総合文化祭で最優秀賞を受賞した北上翔南高校鬼剣舞部の舞は、来場者を魅了していました。

## できたてが一番 とうふ作り体験

とうふ作り体験(農政課主催)は10月27日、臥牛とうふ工房で行われ、市内から男女10人が参加し、販売用の豆腐を作る作業を体験しました。

すりつぶした大豆を回転釜で煮る作業に始まり、豆乳、おから、よせ豆腐、木綿豆腐と姿が変わっていく様子に参加者たちは、興味津々。作業途中の豆乳とよせ豆腐の試食の際には、できたてのおいしさに感嘆の声が上がるなど、工房内は参加者の笑顔が終始あふれていました。

できあがった豆腐を水の中から取り出して、パックにつめる参加者



商品の前で足を止め、説明を聞きながらじっくりと見るお客さん

## ものづくりは地域から 地域ものづくり製品フェア

地域ものづくりフェア(工業振興課主催)は3日・4日の両日、江釣子ショッピングセンターパル1階ジョイスタジオで行われました。

(有)イワサキ、(株)岩手ヤクルト工場、岩手スリーエム(株)、シチズン東北(株)、(株)東北佐竹製作所、三菱製紙(株)北上事業本部、(有)夢工房の7企業が製品の展示や販売を行ったほか、岩手大学によるサイエンスショーも開催。訪れた人は、足を止め各企業の製品に見入っていました。

## 百歳おめでとうございます

### 佐藤喜久榮さん

相去町にお住まいの佐藤喜久榮さんが百歳を迎え5日、自宅に高橋市長が訪問し祝い状と記念品を贈りました。喜久榮さんは大正元年11月5日、北海道美深町生まれ。故富造さんとの間に子4人、孫3人、ひ孫2人に恵まれています。26歳で夫を亡くし、親戚や地域の人に支えられながら、女手一つで家を守ってきました。きれい好きで、頑張り屋。歌も大好きで、好きな食べ物は甘いお菓子とおすしとのこと。百歳を迎え「ありがたいです」と感謝していました。

子や孫などから祝福され、喜ぶ喜久榮さん(中央)



鶴住居幼稚園園児と第一幼稚園園児による「げんきっこ虎舞」。

## 子どものパワー全開!

### 秋の子どもみちのく芸能まつり

第3回秋の子どもみちのく芸能まつりは4日、さくらホールで行われました。写真家の芳賀日出男氏による民俗芸能基調講演のほか、古墳太鼓中学生組や岩崎鬼剣舞スポーツ少年団など県内外の民俗芸能8団体が伝承の芸能を披露し、会場を沸かせていました。

これは、文化庁の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の一つで、子どもたちの発表により、広く民俗芸能の楽しさを認識してもらうとともに、後継者育成の機会となることを願って開催されています。

## 俳句愛好者が集う

### 第5回現代俳人の集い

第5回現代俳人の集いは10日、日本現代詩歌文学館で行われました。同館では、詩・短歌・俳句・川柳の順に毎年一分野の「集い」を開催。今年は4年ぶりの俳句全国大会となりました。井上泰至氏による記念講演のほか、入賞作品の発表・表彰、選者講評が行われ、参加者は一句一句に関心を寄せていました。

募集句の部は887句の中から谷川彰啓さん(大分県)が、当日句の部は276句の中から長谷川かよ子さん(盛岡市)が、第5回現代俳人の集い賞を受賞しました。

高濱虚子の俳句の時代について講演する井上泰至氏



350gの野菜を手で量る体験に挑戦する彩水さん(中央)

## 食生活を見直そう

### 野菜の計量体験

食育について広く周知するための食育推進イベント「野菜の計量体験」は10月28日、江釣子ショッピングセンターパル1階ジョイスタジオで行われました。

「一日に野菜を350g以上食べましょう」を合い言葉に、手だけで野菜を量る計量体験や、食育に関するクイズなどを実施。参加者は、家庭での食事や自身の食生活を見直していました。野菜の計量体験に参加した戸田彩水さん(飯豊小2年)は「野菜は好き。350gは思っていたより多かった」と驚いていました。